

タッセイ × サンゲツ RE:(PRE)SENT(リーゼント)



プロジェクト概要

プロジェクト名：RE:(PRE)SENT（リーゼント）

期間：2025年12月8日（月）～12月12日（金）

場所：社会的養育支援センター 一陽、児童養護施設 吉江学園

内容：内装工事のボランティアを通じた若手技能研修及び若手職人育成

RE:(PRE)SENT（リーゼント）とは

『RE（「再」の意）+Present』

タッセイ自社職人チーム「TAT」が、リユース材を活用し、リノベーションをプレゼントする循環型支援プロジェクト。



実施の背景

タッセイはこれまで、住宅や施設の内装を通して“より良い暮らしづくり”に携わってきました。自社職人チーム「TAT」の多くは、日頃から大規模な施工現場で技術を磨いていますが、そこでの仕事は関わる人が多く分業も進んでいるため、完成した空間を実際に使う方々の声や反応に直接ふれる機会は決して多くありません。

今回の養護施設での活動は、そんな職人たちに「自分たちの手仕事が、誰かの暮らしにどう役立つのか」をより実感できる場をつくりたい、という思いから生まれました。施設のスタッフの方と打ち合わせをし、子どもたちが過ごす様子を想像しながら進める作業は、普段の現場では味わいにくい“人に寄り添うものづくり”を体験できる貴重な機会となります。

この活動を通じて、TATのメンバーが仕事の先にいる「顔の見えるお客様」を意識し、より丁寧に、より思いやりを持って空間づくりに向き合えるようになることを期待しています。それは技術者としての成長にとどまらず、社会の一員として大切な視点を育むことにもつながると考えています。



活動の目的

1. 子どもたちの生活環境の改善

居室や共用部の内装を整えることで、心理的な安心感や日常の快適さを高めることを目指します。

2. 建築業界としての社会的責任を果たす

技術を持つ企業だからこそできる地域貢献として、継続的な支援のモデルケースを創出します。

3. 職人自身の人としての成長・技術継承

社会貢献活動を通じて、若手職人が実践的な経験を積み、人と向き合いながら仕事をする中で、思いやりや責任感を育み、職人としてだけでなく一人の人間としても成長できる場とすることを目指します。

